

CentreCOM® 8016XL リリースノート

この度は、CentreCOM 8016XL をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。
このリリースノートは、付属のマニュアルに記載されていない内容や、ご使用前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。
最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1 ファームウェアバージョン 4.1.2J

2 本バージョンで追加された機能

ファームウェアバージョン4.1.1Jから4.1.2Jへのバージョンアップにおいて、以下の機能が追加されました。

トラップの有効/無効の切り替え



「AT-S59 オペレーションマニュアル」 /

「2.4 システム設定」「3.4 システム設定コマンド」

SNMP 認証トラップおよびポートのリンクアップ/リンクダウントラップを生成する/しないを設定できるようになりました。デフォルトは、SNMP 認証トラップを生成しないように設定され、また、ポートのリンクアップ/ダウントラップを生成するように設定されています。

メニューオプション

[Main Menu] -> [System configuration] に、次のメニューオプションが追加されました。

[SNMP parameters]->[Authenticate Failure Trap]/[LinkUpDownTrap Enable Ports]

コマンド

次のコマンドが追加されました。

```
ENABLE SNMP [AUTHENTICATE_TRAP] [LINKTRAP[={port-list|ALL}]]
```

```
DISABLE SNMP [AUTHENTICATE_TRAP] [LINKTRAP[={port-list|ALL}]]
```

3 本バージョンで修正された項目

ファームウェアバージョン4.1.1Jから4.1.2Jへのバージョンアップにおいて、以下の項目が修正されました。

3.1 マルチプルVLANモード時に、すでに学習済みのMACアドレスをスタティックMACアドレスとして登録しても、エージング機能により自動的に消去されてしまうことがありましたが、これを修正しました。

3.2 マルチプルVLANモード時、クライアントVLANに属するポートから、本製品と同じMACアドレスを送信元MACアドレスとするパケットを受信すると、本製品のMACアドレスがエージング機能により消去されてしまい、本製品宛の通信が不可能になってしまうことがありましたが、これを修正しました。

- 3.3 ポートランキング接続時、トランクグループ2(ポート9~16)に属するポートのリンクアップ、ダウンを繰り返すと、通信速度が落ちることがありましたが、これを修正しました。
- 3.4 ポートセキュリティーのSecureモード動作時、メニューから新規VLANの作成、ポートの追加を行うと、追加したポートに登録されていたMACアドレスだけでなく、その他の一部のMACアドレスの所属ポートも変更されてしまうことがありましたが、これを修正しました。
- 3.5 マルチプルVLANモードで連続稼働時間が497日を超えると、MACアドレスが登録できなくなり、本製品宛通信ができなくなることがありましたが、これを修正しました。

4 本バージョンでの制限事項

ファームウェアバージョン 4.1.2J には、以下の制限事項があります。

4.1 SNMP について

RMON MIB の statistics グループ、etherStatsEntry オブジェクトで、統計情報がカウントアップした後に、etherStatsStatus に underCreation を設定し、本製品側で RESET PORT COUNTER コマンドを実行すると、設定を変更した ifIndex 番号のポートのカウンターが正しく表示されません。

4.2 ポートセキュリティーについて

セキュリティーモード時、未登録のMACアドレスを持つパケットを受信し続けていると、Ping などの本製品宛の通信ができなくなることがあります。

5 未サポート機能

以下の機能はサポート対象外ですので、あらかじめご了承ください。

DHCP クライアント機能について



「CentreCOM 8016XL 取扱説明書」 51 ページ

「AT-S59 オペレーションマニュアル」 18、77、224 ページ

本バージョンでは、DHCP クライアント機能は未サポートですので、あらかじめご了承ください。なお、DHCP クライアント機能を有効に設定 (Enable DHCP function メニューおよび ENABLE DHCP コマンド) しても、有効にはなりません。

6 マニュアルの補足


同梱の CD-ROM に収録されている「AT-S59 オペレーションマニュアル」の補足説明です。

6.1 ポートセキュリティについて

 **「AT-S59 オペレーションマニュアル」 88、241 ページ**

- セキュリティモード設定時、他のポートで登録された MAC アドレスに対してセキュリティがかからないことがあります。
ポートに学習可能な MAC アドレスの最大数と不正パケット受信時のアクションを設定した場合は、ポートに接続されている端末を別のポートに移動させないでください。
- データの送受信中にセキュリティモードの切り替えをすばやく行くと、学習された MAC アドレスが、ダイナミック MAC アドレスとスタティック MAC アドレスに混在して登録されることがあります。
セキュリティモードを切り替える場合は、しばらく間をあけてください。
- Limited モードを設定し、MAC アドレス学習中に、VLAN 設定で対象ポートをタグなしポートからタグ付きポートに変更すると、すでに学習済みの MAC アドレス宛のパケットにはタグが付与されません。
Limited モードを設定した後で、対象ポートをタグなしからタグ付きに変更した場合は、スタティック MAC テーブルの消去 (Clear static MAC table メニューおよび RESET FDB コマンド) またはスタティック MAC アドレスの削除 (Delete MAC address (Per port static MAC address) メニューおよび DELETE FDB DESTADDRESS コマンド) を行ってください。

6.2 マルチプル VLAN について

 **「AT-S59 オペレーションマニュアル」 144 ページ**

マルチプル VLAN モード設定時、転送先 (マネージメントポート含む) のない単一の VLAN を作成した場合、該当ポートでブロードキャストパケットを受信しても受信フレーム統計情報の Frames および Broadcasts のカウンターが正しくカウントアップされません。

